

試験結果報告書

報告書No.NP250056-001

2024年9月17日

計量証明事業所 大阪府 第10-124号

株式会社総合水研究所

〒590-0984 堺市堺区神南辺町一丁目4番地6

Tel 072-224-3532 Fax 072-224-3257

環境分析センター

〒592-8334 堺市西区浜寺石津町中二丁目6番34号

Tel 072-243-3532 Fax 072-280-3257

環境計量士 三浦 哲也



御依頼を受けました試料の試験結果を
下記のとおり報告致します。

(受領年月日) 2024年6月5日

(受付方法) 郵送

(試験対象品名) SH-1000

(試験方法) JIS S 3241 : 2022 家庭用浄水器
7.13 遊離残留塩素濃度調整機構の性能試験

(試験概要) 浄水器の種類：連続式浄水器 (I形) 複数水栓対応 (POE) 形浄水器
原水：水の有機体炭素 (TOC) を活性炭ろ過などによって1mg/L以下とした後、
次亜塩素酸ナトリウムを加えて、遊離残留塩素濃度が 0.5 ± 0.1 mg/Lを
維持するように調製する。(水温 $20 \pm 3^{\circ}\text{C}$)
操作：未使用のろ材を組み込んだ浄水器を、当該浄水器の使用方法によって
初期通水後、浄水器がもつ遊離残留塩素濃度調整機構を製造業者の
指定する方法によって調整し、表示のろ過流量 (20L/min) で10分間
原水を連続通水してから、通水を継続したまま、流量を15L/minに調節し、
そのときのろ過水を採水し、遊離残留塩素濃度を測定する。
試験実施場所：総合水研究所 みずけんビル 浄水器試験室

(測定方法) 水道法施行規則第17条第2項の規定に基づき厚生労働大臣が定める
遊離残留塩素及び結合残留塩素の検査方法 (平成15年厚生労働省告示第318号)
別表第6 携帯型残留塩素計測定法

(試験年月日) 2024年8月8日

(試験結果) 遊離残留塩素濃度調整機構の性能試験の結果を表に示す。

遊離残留塩素濃度調整機構の性能試験結果

試験対象品名	動水圧 (MPa)	ろ過流量 (L/min)	遊離残留塩素濃度 (mg/L)	
			原水	ろ過水*
SH-1000	0.06	15	0.58	0.18

*ろ過水に含まれる遊離残留塩素の濃度は0.1mg/L以上でなければならない。